

かながわの交通

2023
1月号

交通安全年間スローガン受賞作品（内閣総理大臣賞）
～一般部門(A)～ 運転者（同乗者を含む）に呼びかけるもの

運転は ゆとりとマナーの二刀流



箱根駅伝（写真提供：安全推進課 濱野洋子）



道路横断には気をつけて！

横断歩行者の事故が増えています。

油断大敵！ 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう！

歩行者
事故
多発！

◎県内の交通事故発生概況(令和4年12月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別 区分	発生件数	死 者 数	傷 者 数
令和4年	21,103	113	24,356
令和3年	21,660	142	25,062
増 減 数	-557	-29	-706
増 減 率	-2.6%	-20.4%	-2.8%

	総 数	男	女
県 人 口	9,232,105	4,577,479	4,654,626
免 許 人 口	5,654,626	3,208,742	2,445,884
割 合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人



ホームページ

(県人口は令和4年12月1日、免許人口は令和4年11月末現在)

年頭ご挨拶



公益財団法人
神奈川県交通安全協会会長 石坂 浩二

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、御家族共々希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、交通安全協会の諸活動につきまして、深い御理解と多大な御支援、御協力を賜りましたことに対し厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年の本県における交通事故については、発生件数、亡くなられた方、負傷された方はいずれも前年に比べて減少いたしました。

亡くなられた方は113人と、第11次 神奈川県交通安全計画における年間の24時間死者数を130人以下にするという目標を2年で達成することとなりました。

交通事故の傾向につきましては、歩行者の方が犠牲になられた事故が増加し、二輪車関係事故も依然として多く発生しております。

悲惨な交通事故を防止するためには、一人ひとりが基本的な交通ルールやマナーを守っていただくことはもちろん、県、県警察、自治体、関係機関・団体、ボランティアの皆様方が一体となった県民総ぐるみの交通安全活動が重要であると再認識しているところであります。

神奈川県交通安全協会といましましては、本年も皆様方の御協力を頂きながら各地区交通安全協会とも緊密に連携し

- 子どもから高齢者まで、歩行者を交通事故から守る各種活動の推進
- 二輪車の交通事故防止に資する各種活動の推進
- 自転車の交通事故防止とヘルメットの着用促進
- 飲酒運転等悪質運転・危険運転を根絶する活動の推進

を重点として、交通安全活動に積極的に取り組んでまいりますので、より一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウィルス感染症が終息し、皆様方にとりまして、明るく健やかな年となりますよう心から祈念申し上げまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。



神奈川県警察本部長 林 学



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

神奈川県交通安全協会の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、コロナ禍が続く中、感染予防に配意しつつ、交通安全活動や情報発信活動に御尽力いただきましたことに対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年の交通事故情勢を顧みますと、貴協会をはじめ、関係機関・団体の皆様の御協力の下、交通事故防止対策を推進した結果、県内の人身交通事故は、発生件数、負傷者数、死者数のいずれも、前年に比べ減少しました。

特に、死者数については、統計の残る昭和23年以降、最も少ない113人で、昭和45年のピーク時の約14パーセントまで減少しました。

しかしながら、今なお多くの尊い命が交通事故によって失われており、県警察では、本年も交通事故防止対策をより効果的に推進するため、年齢、地域等の特性に応じた交通安全教育及び社会のニーズに対応した広報啓発活動のほか、交通事故実態のAIの活用等による分析結果を踏まえた各種交通街頭活動に取り組んでまいります。

また、県警察では、令和5年4月までに施行される改正道路交通法の内容を踏まえ、改正された自転車安全利用五則の活用をはじめ、全ての年齢層の自転車利用者に対する乗車用ヘルメットの着用の促進など、自転車の交通ルールの周知徹底を図っているところです。

加えて、将来的に、一定の要件を満たす電動キックボードが「特定小型原動機付自転車」として、自転車と同様の交通ルールにより通行区分を共有することから、モビリティの多様化が、交通事故の増加に繋がることがないよう、まずは、自転車の交通ルールの周知徹底について、貴協会にも引き続きご協力を賜りたいと存じます。

結びに、本年も貴協会のますますの御発展、そして会員の皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。

交通栄誉章「緑十字金章・銀章」及び交通安全優良団体等表彰

～金章7名、銀章28名、5団体が受賞～

交通栄誉章「緑十字金章」受賞者



中川 潔
(幸)



中村昌弘
(横須賀)



尾崎輝雄
(小田原)



笹生準一
(厚木警察署管内)



安西信幸
(津久井)



増田京市
(泉)



由谷悦子
(葉山町)

令和5年1月18日(水)、新宿区立新宿文化センターにおいて「第63回交通安全全国民運動中央大会本会議」が行われますが、(公財)神奈川県交通安全協会推薦の受賞者(団体)は次のとおりです。

交通栄誉章「緑十字金章」

交通安全功労者(敬称略)

中川 潔(幸)、中村昌弘(横須賀)、尾崎輝雄(小田原)、笹生準一(厚木警察署管内)
安西信幸(津久井)

優良運転者(敬称略)

増田京市(泉)、由谷悦子(葉山町)

交通栄誉章「緑十字銀章」

交通安全功労者(敬称略)

松澤秀夫(加賀町)、三石孝司(戸部)、森修一(神奈川)、鎌田安一(青葉)
石井喜代志(泉)、横溝真司(高津)、持田知介(高津)、鮫島 隆(宮前)、石垣正吉(多摩)
松本勝義(藤沢北)、落合重雄(平塚市)、金子明男(厚木警察署管内)、林 定男(相模原南)
榎本雪夫(相模原北)

優良運転者(敬称略)

橋本紳二(磯子)、伊藤博行(南)、高橋一三(緑)、長沼 獻(栄)、石渡仁志(横須賀)
渡邊辰哉(横須賀)、中川誠治(藤沢市)、家富節子(藤沢北)、栗山 博(小田原)
栗原秀夫(秦野市)、落合政男(大和綾瀬)、安藤孝洋(相模原)、中静光男(相模原)
岩田英政(津久井)

交通安全優良団体

戸部交通安全母の会 第5支部(戸部)

交通安全優良学校

横浜市立領家中学校(泉)、神奈川県立中央農業高等学校(海老名市)

優良交通安全協会

座間交通安全協会、大船交通安全協会

(順不同)

新春
のお慶びを
申し上げます

公益財団法人
神奈川県
交通安全協会
会長 石坂 浩二

一般財団法人
横浜市
交通安全協会
会長 板橋 悟

一般社団法人
川崎市
交通安全協会
会長 關 進

三浦半島地区
交通安全協会
連合会
会長 岡 昌憲

湘南地区
交通安全協会
連合会
会長 飯塚 武彦

相模地区
交通安全協会
連合会
会長 古郡 保正

公益財団法人
神奈川県
交通安全協会
専務理事
長澤 嘉信



「交通安全優良学校」の紹介

◎ 横浜市立領家中学校（横浜市泉区領家四丁目3番地の1）

〔沿革等〕

横浜市立領家中学校は、昭和61年、奇しくも泉区誕生と同じ年に開校しました。

「築こう 磨こう きり拓こう」という教育目標を掲げて20年以上になります。この3ステップは、時に学年としての発展であったり、時に行事への目標であったりと、形を変えながらも指針となるべき考え方として領家中学校に根付いています。

〔功績の概要等〕

本校では毎年、泉警察署交通課及び交通安全協会による交通安全教室を行っています。交通安全教室では、講義のほかに自転車運転の危険運転やトラック、カーブミラーの死角を体験し、身近に潜む危険について学んでいます。

2020年には、「スケアード・ストレイト教育」（交通事故の危険性を疑似体験する交通安全教室）を行いました。ちょっとの気のゆるみが大きな事故につながることを実感し、自転車の乗り方や道の歩き方について、しっかり考えを深めた時間でした。今後も交通安全教室を継続し、交通事故の未然防止に努めていきます。



◎ 神奈川県立中央農業高等学校（海老名市中新田四丁目12番1号）

〔沿革等〕

神奈川県立中央農業高校は、明治39年に開校した全日制課程農業科の高校で、園芸科学科・畜産科学科・農業総合科の3学科を設置しています。高等学校普通教育及び農業に関する専門教育を行い、生徒一人ひとりの個性を伸ばし、神奈川の農業及び食品産業を担うスペシャリストを育成しています。

〔功労の概要等〕

「中農」（ちゅうのう）の愛称で親しまれている110余年の伝統ある学校です。生徒たちは神奈川県全域から通学しています。コロナ禍に入るまでは、海老名駅周辺で行われる街頭での交通安全キャンペーンに参加し、PTAと共に地域の交通安全事故防止活動に積極的に取り組んできました。



神奈川県警察交通事故防止対策

昨年の県内の交通事故情勢は、人身交通事故発生件数、怪我をされた方、亡くなられた方はいずれも前年に比べて減少しました。

県警察では悲惨な交通事故を1件でも減らすため、令和5年は、交通事故防止対策の推進を重点目標として

- ① 自転車
- ② 横断歩行者
- ③ 二輪車



の3つの交通事故防止対策と、「高齢者」「子供」の2つの対象を重点に掲げて、交通指導取締りを始めとした街頭活動や交通事故防止のための広報啓発活動など、県民を交通事故の災禍から守る活動に尽力します。

令和4年度「年末の交通事故防止運動」の実施結果

《令和4年12月11日(日)～12月20日(火)の10日間》

運動期間中の県内における交通事故は、負傷者数は昨年の同期間と比べて増加となりましたが、発生件数及び死者数は減少しました。

○ 期間中の県下の交通事故発生概況

区分	発生件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
期間中累計	713	2	821
前年同期比	-4	-6	+12

○ 期間中の交通死亡事故の概要

12月15日(木) 横浜市戸塚区平戸町(国道1号線)

貨物自動車が歩行者(死亡者、90歳、男性)と衝突

12月17日(土) 相模原市緑区中野(国道415号線)

乗用自動車が歩行者(死亡者、83歳、女性)と衝突

公益財団法人 神奈川県交通安全協会 新キャラクター紹介

ルールを守る
交通安全のリーダー
名犬ルーリィ

ルールを忠実に守って
相棒のウォッチャと一緒に
交通安全に努めます。



大きなメガネで注意ちゅうい!!
おサルのウォッチャ

ルーリィの相棒メガネザルの
ウォッチャです。よろしくね!

ルーリィ・ウォッチャ、よろしくおねがいします。

令和5年使用 交通安全年間スローガン決定

～ 応募総数は 42,665 点 ～

全日本交通安全協会と毎日新聞社が主催し、内閣府、警察庁等の後援により募集している交通安全年間スローガン（令和5年使用）が決定しました。

関係機関・団体の関係者による審査の結果、一般部門A、B及びこども部門Cの各部門で内閣総理大臣賞、内閣府特命担当大臣賞、警察庁長官賞、こども部門で文部科学大臣賞、各部門で、全日本交通安全協会会長賞（佳作）が選ばれました。

☆ 一般部門A：運転者（同乗者を含む）に呼びかけるもの

- 内閣総理大臣賞
運転は ゆとりとマナーの 二刀流 群馬県前橋市 板垣 宏
- 内閣府特命担当大臣賞
もちましよう 心の余裕と 車間距離 宮城県石巻市 狩野 墓
- 警察庁長官賞
「なにで来た？」 乾杯前の 合言葉 大分県大分市 上田 結花
- 全日本交通安全協会会長賞（佳作）
夕暮れの ライトは迷わず 早めから 兵庫県丹波市 村岡 孝司
返納で 未来へ安全 バトンパス 東京都練馬区 清水 春美
守りたい チャイルドシートで 未来の希望 新潟県上越市 関原 晴美

☆ 一般部門B：歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの

- 内閣総理大臣賞
自転車に 乗るなら必ず ヘルメット 神戸学院大学附属高等学校 野澤 蓮香
- 内閣府特命担当大臣賞
反射材 「ここにいるよ！」の メッセージ 東京都墨田区 峰木 一紀
- 警察庁長官賞
なれた街 いつもの道でも みぎひだり 千葉県市川市 柳沢 裕昭
- 全日本交通安全協会会長賞（佳作）
イヤホンが 危険を知らせる 音を消す 千葉県浦安市 土田 みどり
自転車も 車社会の 責任者 兵庫県丹波市 村岡 孝司
前を見て どっちが大事 スマホと命 南国市立鳶ヶ池中学校 藤原 麻衣

☆ こども部門C：子どもたちに交通安全を呼びかけるもの

- 内閣総理大臣賞
ぺだるこぐ ぼくのあいぼう へるめっと 群馬県前橋市立勝山小学校1年生 田子 惺琉
- 内閣府特命担当大臣賞
あげた手は いのちをしらせる 警報機 足立区立寺地小学校4年生 秋山 健太
- 文部科学大臣賞
あぶないよ いそぐきもちに しんこきゅう ... 茨城県結城市立江川北小学校1年生 稲葉 美月
- 警察庁長官賞
登下校 なれた道でも 気をつけよう 静岡市立清水有度第二小学校6年生 土屋 紗花
- 全日本交通安全協会会長賞（佳作）
暗い道 たすけてくれる 反射材 山鹿市立山鹿小学校6年生 陶山 仁暉
ちょっと待て 安全確認 ちゃんとした？ 群馬県前橋市立第一中学校1年生 今野 はぐみ

この人 201



横浜水上交通安全協会
会長

ふじ きこう きち
藤木 幸吉さん



明けましておめでとうございます。

皆様方には、ご家族と共に健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

当協会は昭和35年に設立され、山下ふ頭に事務所を置き、横浜港の発展と共に歩んで参りました。

主な活動エリアは、みなとみらい新港地区、山下ふ頭の港湾エリアを中心に活動を展開しております。なかでも山下ふ頭は都市臨海部の新たな賑わい拠点作りに向けた再開発でも注目を浴びており、周辺には元町、山下公園、大さん橋、赤レンガ倉庫等人気スポットが集中しイベントも開催され、多くの観光客で賑わっております。このエリアは、今後も発展が続く事が予想され、人流増加により交差点内での車両相互による事故や二輪車と歩行者との事故等の増加も懸念されます。当協会では、広報車によるパトロール、大さん橋入口の開港広場で通行人や通行車両に対し、交通安全を呼び掛け、啓発品やチラシの配布をしております。また、春と秋の年2回の全国交通安全運動では、水上警察署の警備艇に乗船させて

頂き、船上より市民・観光客・港湾で働く人々に交通安全を呼び掛けております。

さて、当協会は昨年6月の総会で、会長の交代がありました。ここで新たに会長に就任された藤木幸吉会長をご紹介させて頂きます。藤木会長は、平成26年より当協会の副会長として交通安全活動をリードし、日頃は港湾関係の企業や協会等で数々の要職を抱えながら、横浜港の発展のために幅広く活動をされております。

また、横浜に生まれ育ち、多趣味で行動力もあり、交通安全活動の他、防犯活動にも精力的に参加されており、年齢的にも若く人望もある方ですので、持ち前の行動力で我々の活動をリードして頂けるようお願いしたいところです。

今後も藤木会長を中心に、地域の安全・安心をしっかりと守るため、交通安全活動を行い、交通事故の無い街作りに貢献できればと思っております。

取材協力：横浜水上交通安全協会 事務局

ここにちは「相模原北交通安全協会」です

相模原北交通安全協会は、発足して約16年経ましたが、新型コロナウィルス大流行という今まで経験したことのないウィルスが全国で発生し、協会にとっても激動の3年間でした。

一時、警察での優良講習が閉鎖されたため職員一名での対応となり、優良講習が解除された夏、連日、協会には更新に来られる人の長蛇の列が何日も続き、北警察もコロナの影響で入場制限をしているため、警察署から歩道まで列が延び大勢の警察官が対応に追われ、当協会にも警察官が配置され、交通整理と本署とのやり取りで汗をかきながら奮闘していました。

コロナの影響でほとんどの催し、キャンペーン等が中止になる中、当協会役員、交通指導員の活動も激減していましたが、令和4年の春ごろから徐々にキャンペーン等が小規模ながら行われるようになり役員・指導員等に少し活気が戻ってきています。

新型コロナウィルスの影響で北警察署管内の事件・事故が減少していると聞いていますが複雑な気持ちです。

ここ数年の区内の変化といえば職業訓練大学の



広大な跡地に総合病院と県立高校が同時に移転し人の流れが大きく変わり、橋本駅前にあった移転した県立高校の跡地にリニア新幹線の駐車場が建設されると聞いております。

協会では、年々若者の運転免許取得の減少が見られ、協会入会者も少なくなってきており、更に数年先には、証紙廃止に伴い現金のキャッシュレス化などが計画されていると聞いています。将来交通安全協会がどのような方向に向かっていくのか不安もありますが、今後も警察署や関係機関団体と連携し、一件でも悲惨な交通事故を無くすため、各種交通安全活動に力を注いで参りたいと思います。

(林 記)

こんばんは 早めのライトで ごあいさつ =

地区交通安全協会の活動紹介



青葉区民祭における交通安全キャンペーン



伊勢原 警察署前における違法駐車キャンペーン



厚木警察署管内 緑ヶ丘小学校における交通安全教室



相模原北 橋本駅北口における秋の全国交通安全運動キャンペーン

交 通 安 全 活 動



大船 大船駅前における違法駐車キャンペーン



海老名市役所前における違法駐車キャンペーン



いずみ野駅前における違法駐車キャンペーン



大磯地区 警察署前における秋の全国交通安全運動キャンペーン

贊助会員の紹介

このコーナーでは(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています(敬称略)。

- (有) サカワオート 横須賀市大矢部
 - 松本徽章(株) 横浜市中区伊勢佐木町
 - (有) 栄モーター商会 横須賀市武

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で安心な交通安全社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。

インフォメーション

- 表彰審査委員会 2月17日(金) 県協会会館
 - 企画・安全委員会 2月24日(金) 県協会会館